

令和 1 年度 事務事業評価シート

事務事業の概要・計画 (PLAN)

事務事業名	(介保)包括的・継続的ケアマネジメント支援事業	会計名称	介護保険特別会計		担当課	長寿介護課	
事業評価の有無	<input type="checkbox"/> 評価対象事業 <input checked="" type="checkbox"/> 評価対象外事業 (事業の概要・結果のみ)	予算科目	3 款 3 項 3 目	事業番号	8125	所属長名	室濶子
法令根拠等	介護保険法	担当責任者名	福島淳太				
総合計画での位置付け	健康福祉都市の創造 健やかで生きがいの持てる高齢者福祉の実践	実施期間	【開始】	令和/平成 18 年度			
総合計画における本事業の役割	総合計画の政策を達成するために事務事業の役割を理解し、有効性等により事業の実施を行う。						
事業の対象	65歳以上の高齢者	事業の目的	高齢者が住みなれた地域で暮らしつづけることができるよう、介護支援専門員・主治医・地域の関係機関等の連携並びに在宅と施設の連携等 地域において多職種相互の協働等により、個々の高齢者の状況や変化に応じて地域における連携・協働の体制づくりに併せて、個々の介護支援専門員に対する支援を行う。				
事業の内容 (整備内容)	包括的・継続的なケア体制の構築 介護支援専門員のネットワーク構築 介護支援専門員の日常的個別指導・相談支援困難事例等への指導・助言		評価事業としないこととした理由	平成30年度より、包括支援センターを委託したことにより、委託先での実施となるため。			

事業活動の内容・成果 (DO)

事業費及び財源内訳 (千円)							事業活動の実績 (活動指標)					
項目	前年度決算	当初予算額	補正予算額	継続費その他	翌年度繰越	決算額	項目	単位	前年度実績	1 年度予定	9月末の実績	1 年度実績
直接事業費	34,936	35,636	0	0	0	34,928	日常的個別相談件数	人	990	1000	500	851
財源内訳												
国庫支出金	13,450	13,719	0	0	0	13,447						
県支出金	6,725	6,859	0	0	0	6,723						
地方債	0	0	0	0	0	0	支援困難事例指導件数	人	3	5	4	1
その他	14,761	15,058	0	0	0	14,758						
一般財源	0	0	0	0	0	0						
職員の人工 (にんく) 数	0.20	0.10				0.10	ケアマネ研修の開催回数	回	3	3	1	3
1人工当たりの人件費単価	7,982	7,992				7,992						
※ 直接事業費+人件費	36,532	36,435				35,727						
主な実施主体	直接実施		実施形態 (補助金・指定管理料・委託料等の記載欄)		一部補助金							
向こう5年間の直接事業費の推移 (千円)					2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	5年間の合計		
					38,000	38,000	38,000	38,000	38,000	190,000		

事務事業評価 (CHECK)

自己判定 (担当責任者)	事業の成果	包括へ委託となり、地域のケアマネからの困難事例等個々の相談に対し相談対応が行えている。年3回の伊予市介護支援専門員連絡会において、各事業所間の連携が図れ、地域のネットワーク構築に繋がっている。		
一次判定	事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 事業継続と判断する。 <input type="checkbox"/> 事業縮小と判断する <input type="checkbox"/> 事業廃止と判断する	判断の理由	地域支援事業の円滑な実施・運営のため、継続が必要である。

二次判定	<input type="checkbox"/>	一次判定結果のとおり事業継続と判断する。	⇒	指摘事項を踏まえ、事務改善、事業推進に努め、今年度の事務事業評価シートに反映させること。
	<input checked="" type="checkbox"/>	一次判定結果のとおり事業継続と判断するが、以下の課題を新たに追加する。 高齢者個々の状況や変化に応じ、介護支援専門員や主治医、関係機関等の連携、並びに在宅と施設の連携等を図る本事業は、高齢者が住み慣れた地域で暮らすために必要な事業であり、継続と判断する。なお、平成30年度から社会福祉法人に委託しており、その運営について、目的を踏まえた適時の状況把握と適切な支援を実施する必要がある。		
	<input type="checkbox"/>	一次判定は以下の点について外部評価が必要と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。		
	<input type="checkbox"/>	一次判定結果のとおり事業縮小と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。		
	<input type="checkbox"/>	一次判定結果のとおり事業廃止と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。		
	<input type="checkbox"/>	既に事業廃止が決定していることから、廃止に向けた手続を行う。		

行政評価委員会の答申 外部評価	答申の内容

今後の方向性 (ACTION)

経営者会議 の最終判断	事業の方向性		コメント欄
	<input type="checkbox"/>	さらに重点化する。	
	<input type="checkbox"/>	現状のまま継続する。	
	<input checked="" type="checkbox"/>	見直しの上、継続する。	
	<input type="checkbox"/>	事業の縮小を検討する。 事業を縮小する。	
	<input type="checkbox"/>	事業の休止、廃止を検討する。 事業を休止、廃止する。	